

令和2年度 実施状況の概要

基本目標1 北陸新幹線金沢開業効果の持続発展と県内全線開業効果の県下全域への波及

【数値目標】・県内観光入り込み客数 2,492万人(H30) → 1,325万人(R2) → 2,950万人(R6)
 ・外国人宿泊客数 68万人(H30) → 10万人(R2) → 95万人(R6)

主な施策の実施状況

(1) 誘客の促進と満足度向上による
石川ファンの拡大

- 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化の促進
 - いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催
 - 北陸新幹線県内全線開業に向けた民間主体の先導的な取り組みに対する支援
- 石川の優れた文化の活用と継承・発展
 - 国立工芸館の開催
 - 兼六園周辺文化の森「加賀百万石文化めぐり」の開催
 - 「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 秋の陣」の開催
 - いしかわ県民文化振興基金を活用した文化団体の活動支援
 - 伝統芸能の無観客講演のインターネット配信
 - 国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」基本構想の策定
- 観光地の活性化とまちづくりの推進
 - 加賀百万石回遊ルートの魅力向上
 - 能登ふるさと博でのSNSを活用した情報発信
 - 加賀地域での域内周遊観光の促進
 - 県民向け県内宿泊応援事業の実施
 - 金沢城復元整備(鼠多門、鼠多門橋の供用等)
 - 兼六園・金沢城公園のライトアップ
 - 榊小松製作所の協力による木場潟公園東園地の整備
 - 無電柱化を核とした街並み景観の向上
- MICEや教育旅行の誘致
 - 学校等への直接訪問による修学旅行等の誘致



国立工芸館



鼠多門・鼠多門橋

(2) おもてなしの向上

- 観光客の声を活かしたおもてなしの向上の仕組みづくり
(アンケート調査によるお客様の声を関係団体等と情報共有)
- 県民向けの「おもてなし講座」の開催
- 金沢中央観光案内所の開所
- 金沢駅観光案内所等の機能・サービスの充実
(手荷物配送サービス、伝統文化の体験・実演等)

(3) 観光振興を担う人材の育成・充実

- いしかわ観光創造塾の開催
- いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催【再掲】

(4) 情報発信の充実

- 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信
 - ガイドブック「ちょっと石川」(初級編)、「もっと石川」(中・上級編)配布
 - いしかわ観光特使及び県人会等のネットワークを活用した情報発信
- 本県認知度持続・向上のための情報発信の推進
 - 「Go To トラベル事業」と連動した本県宿泊旅行商品購入者への特産品プレゼントの実施
 - 「いしかわ観光コンシェルジュ」による観光魅力のPR

(5) 広域連携による周遊観光の促進

- 新幹線開業効果の全県波及の促進
 - 能登ふるさと博でのSNSを活用した情報発信【再掲】
 - 加賀地域での域内周遊観光の促進【再掲】
- 県域を越えたテーマ性のある周遊観光の促進
 - JRと北陸3県が連携した年間を通じた情報発信(季節ごとの観光情報誌の作成・配布等)

(6) 海外誘客の推進

- 東京オリンピック・パラリンピック開催とその後を見据えた誘客推進
 - 北陸新幹線沿線自治体と連携した新たなゴールデンルートの定着促進
 - YouTubeやSNSを活用した情報発信
- 受入体制の充実
 - 外国人旅行者の利便性向上をテーマとした観光事業者向けセミナーの実施



YouTubeを活用したPR

(7) 陸・海・空の更なる交流基盤整備と活用

- 北陸新幹線の建設促進、道路網の整備、二次交通の充実
 - 北陸新幹線の建設促進
 - 道路網の整備(金沢外環状道路等)
 - 二次交通の充実
- 小松空港・のと里山空港の航空ネットワークを活用した交流促進
 - 小松空港、のと里山空港の利用促進等
- 金沢港・七尾港の整備・利用促進
 - 金沢港・七尾港の整備・利用促進(金沢港クルーズターミナルの開催等)
 - 金沢港開港50周年記念事業の実施(金沢港シンボルマークの制定等)
 - 金沢港におけるクルーズ船の誘致



北陸新幹線延伸工事



金沢港クルーズターミナル

主なKPIの状況

・能登地域への観光入り込み客数	7,743千人(H30)	→	4,332千人(R2)	→	9,440千人(R6)
・金沢地域への観光入り込み客数	10,445千人(H30)	→	5,471千人(R2)	→	11,800千人(R6)
・加賀地域への観光入り込み客数	6,727千人(H30)	→	3,448千人(R2)	→	8,260千人(R6)
・兼六園の入園者数	2,748千人(H30)	→	1,022千人(R2)	→	3,400千人(R6)
・小松空港の国際線利用者数	243,874人(H30)	→	0人(R2)	→	292,000人(R6)

基本目標 2 多様な人材を惹きつける生産性の高い魅力ある雇用の場の創出

【数値目標】 就業者数及びその全国比率

614千人、0.921% (H30) → 608千人、0.911% (R2) → 9千人の就業者増により606千人、全国比率増加 (R6)

主な施策の実施状況

(1) 企業の生産性向上支援

- ・企業のAI・IoT設備の導入に対する支援
- ・企業への「生産性向上トレーナー」の派遣

(2) 新技術・新製品の開発・販路開拓支援の強化

- ① 新技術・新製品の開発、ニッチトップ企業等の育成
 - ・いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンドによる新商品開発等の支援
 - ・ニッチトップ企業の育成支援
 - ・革新的ベンチャー企業の発掘・育成に向けた支援(スタートアップ資金支援、アドバイザー派遣、サポートデスクによる相談等)

- ② 販路・受注開拓の支援

- ・技術提案型商談会、オンラインを活用した商談会の開催
- ・アンテナショップを活用した地元産品の魅力発信
- ・オンラインを活用した「いしかわ伝統工芸フェア」の開催



いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンドによる新商品開発等の支援

(3) 炭素繊維複合材料等の次世代産業の創造

- ・いしかわ次世代産業創造ファンドによる産学官が連携した研究開発支援

(4) 海外販路開拓への支援

- ・国際ビジネスサポートデスクや県海外事務所における企業の海外活動の支援
- ・オンラインを活用したビジネス商談会の開催(シンガポール、香港)
- ・食品・伝統産業の海外展開に対する支援(海外アンテナショップ及び海外オンラインショップの開設等)
- ・いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンドへの海外販路拡大枠の設定



石川県アンテナショップ(香港)

(5) 本社機能の立地促進など戦略的企業誘致

- ・オンラインを活用した企業誘致の推進
- ・能登地域におけるサテライトオフィスの誘致推進

(6) 地場産業の経営安定化と基盤強化

- ① 経営基盤の強化、再生・事業転換支援
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援(緊急特別融資、経営持続支援金、家賃支援給付金等)
 - ・外部専門家派遣などによる経営基盤の強化
- ② 小規模企業への支援の強化
 - ・事業承継に対する相談の実施
 - ・商工会・商工会議所の指導力強化

(7) 産業人材の総合的な確保・育成

- ① 企業の多様な人材ニーズに応じた産業人材の確保・育成への支援
 - ・いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)によるマッチング支援
 - ・企業のデジタル人材の育成支援(榊小松製作所・早稲田大学との連携によるスマートエスイーIoT/AIスクール等)
 - ・新型コロナウイルスの影響を受けた方の再就職支援
- ② 女性・高齢者等の多様な人材の活躍の推進
 - ・いしかわ男女共同参画推進宣言企業「女性活躍加速化クラス」の認定
 - ・ILACの女性ジョブサポート石川による相談対応、マッチング
 - ・ILACの高齢者ジョブサポート石川による相談対応、就職支援
- ③ 地域企業と連携したキャリア教育の推進
 - ・中高生に対する職業意識の啓発
 - ・35歳未満の若者に対する企業ガイダンスや面接指導の実施

(8) 農林水産業の成長産業化と農山漁村地域の振興

- ① 他産業との連携による収益性の向上
 - ・榊小松製作所と連携した農業用ブルドーザによる低コスト水稲生産モデル等の普及・拡大
 - ・トヨタ自動車(株)の現場改善手法を導入した収益性の向上
 - ・ドローン・AIを活用した中山間地等での低コスト水稲生産モデルの構築、森林の境界確定作業の効率化
- ② 農林水産物の生産・販売体制の強化とブランド化
 - ・「石川県の特色ある農林水産物を創り育てるブランド化の推進に関する条例」に基づくブランド化の推進
 - ・オンラインを活用した県産農林水産物の首都圏等における販路開拓・魅力発信
- ③ 多様な担い手の確保と基盤整備
 - ・ILACと連携した移住就農の促進(相談会、セミナーの開催等)
 - ・企業等の農業参入促進等による担い手の確保
- ④ 地域の強みを生かした里山里海の生業づくりと魅力発信
 - ・いしかわ里山振興ファンドによる里山里海地域の振興
 - ・世界農業遺産の活用及び魅力発信(商業施設での能登の一品フェアの開催等)
 - ・海女文化の継承に向けた技術習得支援
 - ・いしかわジビエの魅力発信(料理教室の開催、イベント出展等)



ドローンを活用した水稲直播の実証



ルビーロマン

主なKPIの状況

・ AI・IoT等備導入支援件数	51件 (H29~30累計)	→	82件 (R2)	→	170件 (R2~6累計)
・ 食品・伝統産業の輸出額	26億円 (H30)	→	23億円 (R2)	→	42億円 (R6)
・ 誘致企業の新規雇用者数	1,855人 (H17~26累計)	→	2,063人 (H27~R2累計)	→	2,000人 (H27~R6累計)
・ 新規就農者数	118人 (H21~30平均)	→	121人 (R2)	→	120人 (R6)

基本目標3 学生のUターン・県内就職や移住定住の促進と新しい人の流れの創出

【数値目標】 本県人口の転入出数 転出超過 2,556人(R1) → **転出超過 1,499人(R2)** → ±0人 均衡(R6)

主な施策の実施状況

(1) 高等教育機関の集積を生かした「学都石川」の魅力向上

- ① 大学コンソーシアム石川に対する支援(県内高等教育機関の魅力づくりと発信)
 - ・いしかわシティカレッジや県民向け公開講座等の開催
 - ・オンラインを活用した県内大学等による合同進学説明会の開催
- ② 高等教育機関の地域貢献による地域活性化の推進
 - ・地域課題の解決に取り組む大学のゼミナールや学生グループへの支援
 - ・「能登キャンパス構想推進協議会」による奥能登の課題解決につながる活動の促進

(3) 県外大学に進学した学生のUターン就職に向けた取り組み

- ・オンラインを活用したインターンシップマッチング交流会の開催
- ・オンラインを活用したUターン就職セミナーの開催
- ・オンラインを活用した若手社員と学生の交流会の開催
- ・オンラインを活用した合同企業説明会の開催【再掲】
- ・学生向け就職支援ポータルサイト「ジョブNAVI石川」を通じた県内企業の情報発信【再掲】
- ・県内就職の意識醸成(「ふるさと石川就職学生カード(ISica)」)【再掲】
- ・県外大学との就職支援協定の締結

(5) ふるさと教育の充実と魅力ある文化の活用

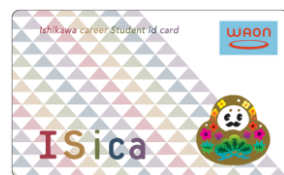
- ① ふるさと教育の充実
 - ・石川版教科書「ふるさと石川」による授業
 - ・子どもに対する伝統芸能の体験機会の提供
 - ・「いしかわジュニアアートステージ」の開催
 - ・「ふるさとモット学び塾」の開設
 - ・「いしかわ子ども自然学校」の実施
- ② 本県の魅力ある文化の活用
 - ・文化情報を一元的に発信するポータルサイトの運営
 - ・伝統芸能の無観客講演のインターネット配信【再掲】

(2) 高等教育機関の集積を活用した県内大学の学生の定着促進

- ・インターンシップマッチング交流会の開催
- ・若手社員と学生の交流会の開催
- ・オンラインを活用した合同企業説明会の開催
- ・学生向け就職支援ポータルサイト「ジョブNAVI石川」を通じた県内企業の情報発信
- ・県内就職の意識醸成(「ふるさと石川就職学生カード(ISica)」)
- ・県内高等教育機関による学生の地元就職を推進する取組に対する支援



インターンシップマッチング交流会



ふるさと石川就職学生カード(ISica)

(4) 社会人Uターン就職に向けた取り組み

- ・いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)を活用した本県へのUターン・移住の促進
- ・ふるさと回帰支援センターにおける相談員の配置
- ・移住における経済的負担の軽減(いしかわ移住パスポート(Iパス)、移住支援金)
- ・オンラインを活用したインターンシップマッチング交流会の開催【再掲】



ILAC窓口での相談対応



いしかわ移住パスポート(Iパス)

(6) 移住定住の促進

- ① 移住希望者への情報発信
 - ・オンラインを活用した移住セミナーの開催
 - ・北陸3県など他県と連携した移住イベントの開催
 - ・移住に係る関係機関を一堂に集めた相談会の開催
 - ・首都圏等の子育て世代を対象とした本県の子育て環境等のPR
 - ・県民との協働によるILAC紹介キャンペーンの実施
- ② 移住体験機会の提供
 - ・短期移住体験事業の実施
 - ・オンライン移住体験事業の実施
- ③ 地域の受入体制の充実
 - ・郵便局長を移住サポーターとした地域情報の提供
 - ・空き家バンクの登録促進



移住セミナー(オンライン開催)

(7) いしかわ応援団(関係人口)の創出・拡大

- ・地域との繋がりを創出するオンラインイベントの開催
- ・農村ボランティアの受入支援

主なKPIの状況

・ 県内出身県内大学生の県内就職率	約7.5割(H30)	→	約7.5割(R2)	→	8.5割(R6)
・ 県外出身県内大学生の県内就職率	約1.5割(H30)	→	約1.5割(R2)	→	2.5割(R6)
・ 県内出身県外大学生のUターン就職率	約6割(H30)	→	約6割(R2)	→	7割(R6)
・ 本県への移住者数(県・市町の制度の活用等による)	1,182人(H30)	→	1,430人(R2)	→	1,500人(R6)
・ 移住体験事業の参加者数	382人(H26~30累計)	→	150人(R2)	→	600人(R2~6累計)

基本目標4 結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援

【数値目標】 合計特殊出生率 1.54 (H30) → 1.48 (R2) → 1.70 (R6)

主な施策の実施状況

(1) 結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援の充実

- ① 結婚を希望する若者への切れ目のない支援
 - ・「いしかわ結婚支援センター」による結婚支援
 - ・結婚相談や出会いの仲介を行う「縁結びist」の養成と活動支援
 - ・「いしかわ婚活応援企業」の活動支援、優秀企業の表彰
 - ・「石川しあわせ婚応援パスポート(婚パス)」による支援
 - ・婚活イベント専用サイト「いしかわ縁結びイベント」の開設
- ② 若者のライフプランに対する意識の醸成
 - ・大学生等を対象としたライフプランセミナーの開催
- ③ 若者への就業支援
 - ・中高生に対する職業意識の啓発【再掲】
 - ・35歳未満の若者に対する企業ガイダンスや面接指導の実施【再掲】



「石川しあわせ婚応援パスポート」



婚活イベント専用サイト「いしかわ縁結びイベント」

(3) 安心して子育てできる環境の整備

- ① 子育てに関する精神的な不安の軽減
 - ・マイ保育園事業の実施(SNS等を活用した相談、一時預かりの実施等)
 - ・在宅育児家庭通園保育モデル事業の実施
 - ・子育て支援総合アドバイザーの配置
- ② 保育・幼児教育サービスと放課後対策の充実
 - ・保育教諭の資質向上に向けた研修体系の構築
 - ・保育士確保の推進(保育所等説明会の開催、修学資金貸与等)
 - ・放課後児童クラブの質の向上(職員を対象とした研修)
- ③ 経済的支援の充実
 - ・プレミアム・パスポート事業による子どもが2人以上いる世帯への支援
 - ・多子世帯の第2子以降の保育料、放課後児童クラブ利用料、病児・病後児保育利用料の無料化
- ④ 男性の子育て参画の促進
 - ・「石川県パパ子育て応援企業」認定制度の創設
 - ・「いしかわパパ子育て応援キャンペーン」の実施
- ⑤ 子どもの生きる力を育む教育の充実と環境の整備
 - ・GIGAスクール構想に基づくICT環境の整備(高速通信ネットワーク・タブレット端末の整備)
 - ・全日制高等学校における学力スタンダードに基づく授業の実施
- ⑥ 社会的な支援が必要な子どもへの支援
 - ・保育士、教員、医療機関関係者等への研修の実施
 - ・児童家庭支援センターの増設
- ⑦ 子どもの健全育成と安全確保
 - ・青少年のインターネット等の適正利用の推進



2子世帯用プレミアム・パスポート



石川県ワークライフバランス企業登録ロゴマーク

(4) 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の推進

- ① 企業におけるワークライフバランスの取り組み促進
 - ・企業が事例を通じて学び合う実践講座の開催、優良企業の表彰
 - ・一般事業主行動計画の策定促進に向けたロゴマークの作成
- ② 県民のワークライフバランス実現に向けた普及啓発・取り組み支援
 - ・大学生向けライフプラン・キャリアデザインセミナー、育休からの職場復帰支援セミナー、パパ子育て講座の開催

(2) 出産の希望がかない、安心して子どもを産み育てるための母子の健康の確保及び増進

- ① 妊娠から出産・育児に至る一貫した母子保健対策の充実
 - ・妊娠期の相談支援体制の強化
 - ・不妊専門相談の実施
 - ・不妊治療に対する助成(第2子以降の特定不妊治療に対する助成等)
 - ・大学生などの若い世代に対する妊娠・出産等に関する医学的な情報を提供するのための出前講座の実施
- ② 周産期・小児医療体制の充実
 - ・産科医等の処遇改善に対する支援
 - ・地域の分娩取扱施設の医療機器等の整備支援
 - ・地域病院における産婦人科・小児科のサポート体制の構築に対する支援
 - ・小児救急電話相談窓口の設置

主なKPIの状況

・県の結婚支援事業による成婚数	884組 (H17~30累計)	→	1,091組 (H17~R2累計)	→	1,750組 (H17~R6累計)
・マイ保育園利用登録率	62.8% (H30)	→	56.8% (R2)	→	80.0% (R6)
・プレミアム・パスポート事業協賛店舗数	2,790店舗 (H30)	→	2,952店舗 (R2)	→	3,300店舗 (R6)
・ワークライフバランス表彰企業数	74社 (H17~30累計)	→	87社 (H17~R2累計)	→	120社 (H17~R6累計)

基本目標5 時代の変化に対応した誰もが活躍できる魅力的な地域づくり

【数値目標】健康寿命[健康寿命：男性72.67歳、女性75.18歳(H28) 平均寿命：男性81.04歳、女性87.28歳(H27)]

→ **国未公表** → 平均寿命の増を上回る健康寿命の増

主な施策の実施状況

(1) 誰もが生き生きと暮らすことができる地域づくり

- ① 女性、高齢者、障害者、外国人などが生き生きと暮らすことができる地域づくり
 - ・いしかわ男女共同参画推進宣言企業「女性活躍加速化クラス」の認定【再掲】
 - ・老人クラブ等の活動支援
 - ・共生社会づくりに取り組む地域コミュニティの認定
 - ・外国人住民を対象とした日本語教育等の実施
 - ・高齢者を対象とした交通安全・防犯教室等の開催
 - ・バリアフリーアドバイザーの派遣、住宅改修事業者を対象とした講習会の実施
- ② 高齢者の地域での見守りや生活支援体制の充実・強化
 - ・保健師等による「お達者ですか訪問」の実施
 - ・地域見守りネットワークの推進(郵便局員等が通常業務の中で、高齢者の異変の情報を市町に提供)



(3) 健康寿命の延伸

- ・生活習慣病予防に配慮し、かつ、美味しい「いしかわヘルシー&デリシャスメニュー」の普及
- ・「いしかわ健康経営宣言企業」の認定などによる企業の「健康経営」推進
- ・歯と口腔の健康づくりの推進(事業所等での出前講座の開催等)



(4) 本県スポーツの裾野拡大と競技力向上

- ・「いしかわ県民スポーツの日」の制定
- ・スマートフォンアプリ「いしかわスポーツマイレージ」の利用促進
- ・東京オリンピック聖火の巡回展示の実施
- ・市町等と連携した東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致
- ・「石川県スポーツ推進計画2021」の策定
- ・競技力の向上(国体選手や中高生の育成強化等)



(6) 人口減少・高齢化に対応した安全・安心な魅力ある地域づくり

- ① インフラ等公共施設の戦略的な維持管理・更新等の推進
 - ・公共施設等の長寿命化対策の推進
- ② 空き家対策・活用の推進
 - ・市町相互間の連絡調整や先進事例の紹介等を行う「空家等対策連絡会議」の開催
 - ・市町が行う空き家バンク登録物件に対する調査への支援
- ③ 生活を支える交通基盤の確保
 - ・IRいしかわ鉄道(株)、のと鉄道(株)、北陸鉄道(株)への支援
 - ・生活路線バスの運行支援
- ④ 自主防災組織や消防団の充実強化による地域防災力の向上
 - ・防災士の資格取得のための研修の実施
 - ・防災士の活動の質の向上を図るスキルアップ研修の実施
 - ・防災士及び自主防災組織の表彰
 - ・消防団の資機材や安全装備品の整備への支援
 - ・消防団員の確保に向けた広報キャンペーンの実施
- ⑤ 魅力ある地域づくりの支援
 - ・地域づくり活動を行う団体への支援(専門家の派遣)
 - ・「石川地域づくり塾」の開催



(2) 介護・福祉人材の確保

- ① 介護・福祉人材の量の確保
 - ・福祉人材センター「福サポいしかわ」におけるマッチング
 - ・高校への「介護・福祉の仕事の魅力伝道師」の派遣
 - ・介護福祉士を目指す留学生や外国人介護職員に対する日本語教育支援
 - ・介護事業所へのICT・IoT機器の導入支援
- ② 介護・福祉人材の質の向上
 - ・福祉総合研修センターにおける研修の実施

(5) 地域医療等の確保

- ① 在宅医療の充実
 - ・研修会の開催を通じた在宅医療を担う人材の育成
- ② 医療従事者の確保と資質の向上
 - ・緊急医師確保修学資金の貸付
 - ・女性医師の子育てと仕事の両立支援(相談窓口の運営等)
 - ・地域医療支援看護師等修学資金の貸付
 - ・県立看護大学等での認定看護師の養成、認定看護師等による看護職員の実践力向上研修の実施

主なKPIの状況

・認知症サポーター一数	111,866人(H30)	→	126,316人(R2)	→	127,000人(R6)
・介護職員数	19千人(H29)	→	20千人(R1)	→	22.5千人(R6)
・IRいしかわ鉄道の普通列車の運行本数	112本/日(H30)	→	112本/日(R2)	→	維持(R5)
・防災士数	6,067人(H30)	→	7,445人(R2)	→	12,000人(R6)
・消防団員数	5,405人(H30)	→	5,328人(R2)	→	増加(R6)